岐阜縣 愛知縣 大地震實況

天変地異ハ往古より聞く有る事ハ書にも見へ古老の咄に聞傳へしが今回尾州濃州両國非常の震災に遭し人民が其惨苦筆紙言葉に尽しがたし其があらましを記さんに明治廿四年十月廿八日午前六時十五分忽ち大地一時に震幾千の家屋を倒し幾

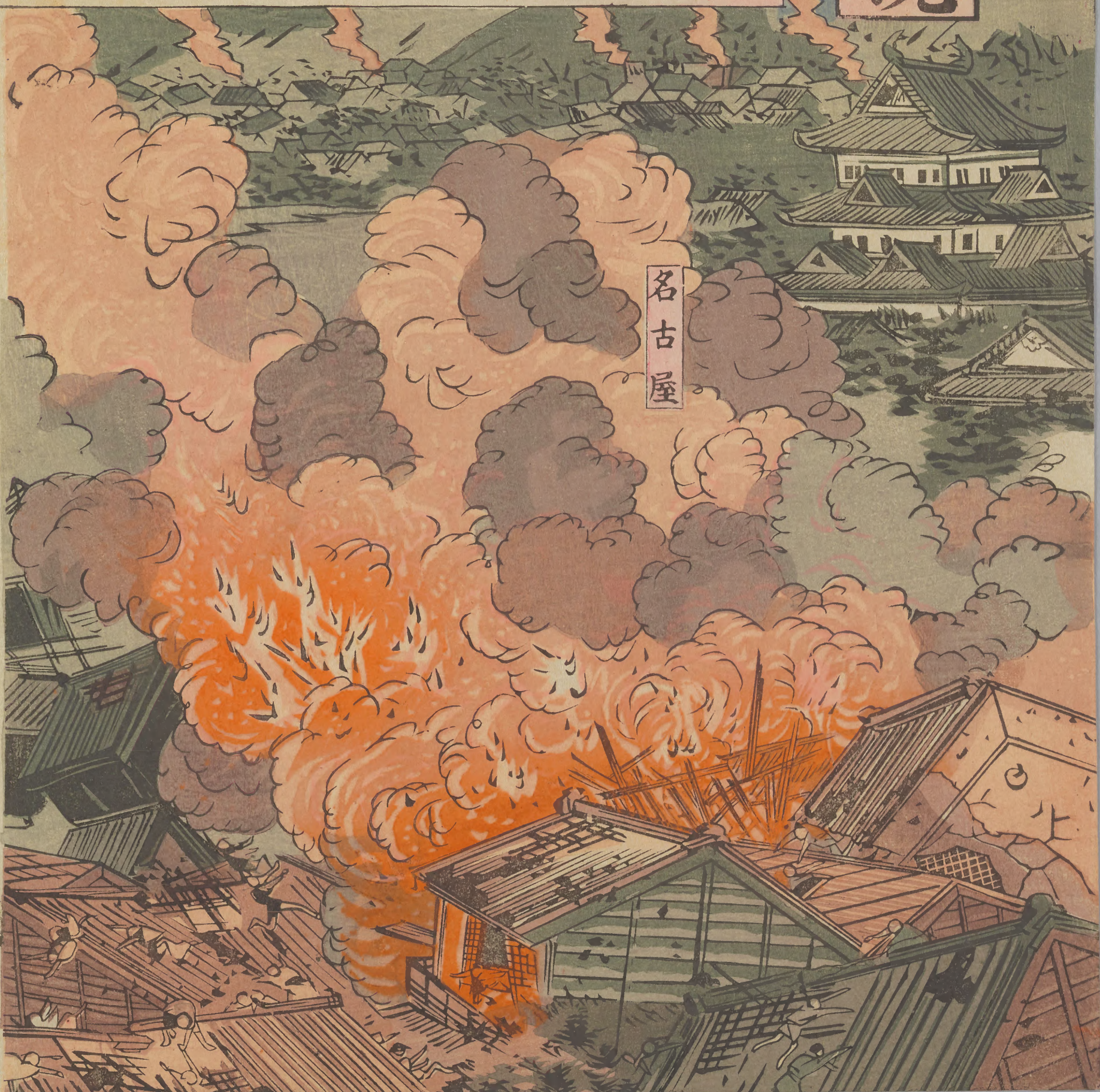
岐阜

名古屋

愛知縣
岐阜縣
大地震實況

岐阜

觀一安政年中の濃州大地震
千載の年十有余年ぶりに大地震
起るは明治廿四年十月廿八日
朝六時頃より其ゆれ出し
一人家を其震動に損傷し
州西国北陸の震災の甚
しく殊に今回尾州濃
前の苦しみ見し古老の話
天変地異の前代未聞

名古屋

百名の人を壓し山ハ崩地ハ亀裂し加ふに火を出し岐阜大垣のごときハ全市悉く焼失す又名古屋にてハ潰家災後の類焼人畜の死傷家屋の損害その他近縣の破損等おびたゞしく前代未聞の珍事なり

笠松

枇杷島橋

大垣

鏡村

竹ヶ鼻

長良川

政年

明治廿四年十一月　日印刷
仝　年十一月　日出版
日本橋区長谷川町十八番地
印刷発行者　福田熊次郎